

2004/08/05 19:40~21:42 第7回まちづくり委員会 第3小委員会 概要

出席委員 7名

座 長 遠崎 泰睦

出席職員 西伯町・会見町合併協議会事務局 米原 稔晃

同 前田 智恵子

寄付・協賛について

- ・ スタッフジャンパーの作成の案がありますが、両町にある企業に寄付を募るなどしては。
- ・ 商工会に協賛していただければ、寄付のお願いなどもある。
- ・ ゆうらくなどは協賛していただけないのか。
- ・ ゆうらくは協賛かは分からないが、なんらかの形で協力されるのでは。
- ・ 単なる寄付ではお金を出しにくいので、チラシや冊子などに広告を載せるということでお金を集めてはどうか。
- ・ ウォークラリーのプログラムなどに出資者の名前を載せるなどしては。

ウォークラリーの開催について

- ・ 開催日程が10月下旬から11月初旬となっていますが、10月末から11月末は他のイベントなども開催の予定があるので、早く日程を押さえてしまいたい。
- ・ 8月23日のまちづくり委員会全体会で決定されると思う。
- ・ アトラクションに出演していただく町内団体などは、練習などがあるので早く話しをしなくてはならない。
- ・ ボランティアフェスティバルなど他のイベントと一緒に開催することはできないのか。
- ・ スタートは分ごとに区切って行ったほうが良いのでは。
- ・ 横2列程度で歩いてもらえば良いのでは。
- ・ スタート直後の信号や日ノ岡古墳などである程度バラけていくのでは。
- ・ 歩こう会などに相談してみても。
- ・ 休憩所で、すこやかはゴール目の前なので、そこで休憩というのはどうかと思う。
- ・ 丸合の駐車場などを借りれないか。
- ・ コースを若干外れる。
- ・ 田中重機や美角屋さんなどの敷地を借りては。
- ・ 有楽園の跡地などのほうが広くて良いが、トイレがない。
- ・ 上阿賀公民館に休憩所を変えてはどうか。
- ・ では、赤猪岩神社の後に上阿賀公民館を追加して、次の休憩所をすこやかとしましょう。
- ・ 赤猪岩神社にはテントを張るなどしなくてはならないが。
- ・ 軽い飲み物や果実程度を出す。
- ・ 参加料を取るのでは、飲み食いは無料だと考える参加者もいるのでは。
- ・ 緑水湖健康マラソンの場合は、参加料1,000円で、おにぎりや汁の引換券を配布している。参加料

にご飯代が入っているかどうかは分からないが、参加者にしか引換券は出さないで、含まれているのでは。

- ・ 参加料をある程度頂いて、休憩所等のお茶代としては。
- ・ 西伯のウォーキングの場合は、豚汁だけ用意して、弁当は各個人で用意されている。豚汁を作る費用は町予算で賄われている。
- ・ 協賛金や寄付などを集めて食事は用意したい。
- ・ 参加者に関しては、参加費に食事代を含んでおいて、その他の方についてはお金をいただくようにしないと、ウォークラリー終了後の販売やイベントだけ参加される方もいる。
- ・ お弁当は各自で用意していただいて、汁物だけ用意しては。
- ・ 汁物でも人数が多いとかなりの予算が必要。予算がない場合はどうするのか。
- ・ 参加費の取扱いは、大人と小学生以下の料金設定の取扱いはどうするのか。
- ・ 親子参加は安くするなどしては。
- ・ 町の予算をあてにしないのであれば、大会会長を南部町長とするのはやめて、名前も変えてしまったほうが良いのでは。
- ・ 町も予算を出されるとは思うが、町が全部を負うことはない。できるところは自分達でやるべき。
- ・ 参加費にお茶代を含むことはしたくない。あくまで保険代の 50 円のみを参加費としたい。
- ・ 開催に協力していただくボランティアの弁当、飲み物を用意したい。
- ・ 参加者数によっては、仮設トイレの設置も考えなくてはならない。

ウォークラリー後のイベントについて

- ・ 会見町から参加する団体の想定が少なく感じる。
- ・ 会見町地域はウォーキングコース内に史跡などが多いので、逆に終了後のイベントには西伯を多くするような考えです。
- ・ 両町から均等に出演があったほうが、どちらの住民も見に行く気になれる。
- ・ 何時間も歩いてきた後に、堅い催し物ばかりだとどうかと思う。皆が参加できるようなもののほうが良い。
- ・ 前回もゲーム大会などの案がでたが、景品などの準備ができるかどうかははっきりしていない。
- ・ 提案の段階で団体名などを記入していると、参加されなかった場合に失礼となるので、言葉の説明程度にしては。
- ・ 催し物は最大 2 時間程度か。
- ・ 間延びするので、せいぜい 2 時間程度。

販売について

- ・ 11 月に開催されるのなら、JA の果実部に柿・梨などの販売をお願いできるのでは。
- ・ フリーマーケット的なものを募集するのか。

ウォークラリーについては、組織図などの提案書を作成し、報告する。予算などの検討については実行委員会を立ち上げた後行う。

新しい組織の立ち上げについて

- ・ 新規の組織の立ち上げで、新聞報道もあったが、日吉津のコミュニティ組織のようなものはどうか。会見町は部落単位での活動はあるが、組織立ったものではない。地域の問題は地域で解決するための組織が必要では。
- ・ 西伯町では地域福祉計画があり、6地域で計画書を纏めているところ。
- ・ 会見町でも市山と宮前一がモデル地域として計画書を策定したが、会合を2回しただけで終わってしまい、継続的な活動ではない。今後は行政ではカバーできない問題の解決のために。例として、西伯町の点在している集落へのバス運行などは無理、同じような問題を抱えた地域があるが、送迎のNPOが立ち上がって問題を解決した。そういった組織がないと、弱者にとってつらい町になってしまう。
- ・ 西伯町では集落ごとに組織的なものがある。合併によって会見町にも輪が広がっていくのでは。
- ・ 輪が広がるのは良いが、新しいものを作りたい。会見町でも地域が力を持っていて、話が進んでいけば良いが、そういった訳ではない。
- ・ お互いに取り組みが違うので、まずは両町お互いを知らないと言えない。
- ・ 地域福祉にかかわる委員会などとして提案してみても。
- ・ 西伯は地区があるが、会見はない。会見の環境の似た地域を纏めて、自分達で問題発見・問題解決を。
- ・ 地区同士の連絡協議会などを持って解決していくものか。
- ・ 各地区が主体となって問題解決をしていく。地域ごとに問題には違いがあるので、それに対応した解決を自分達で見つけていく。NPOの送迎にしても、バスが通わない地域の考えた問題解決法。
- ・ 新しい組織を立ち上げるのは大変。通常問題が発生すれば、自発的に問題を解決しようとする。行政が絡んでいても独自の活動はできる。
- ・ 行政と地域住民との協働がないと、なにもかも行政ではできない。
- ・ 今でもそうなのでは
- ・ 会見町はそうでもない。会見町の遅れている部分。
- ・ お互いの町を理解していかないと、いきなり新しい組織を立ち上げることはできないのでは。
- ・ 問題が起きた場合に、相談先に迷うことがよくある。子どもの問題など、保護者だけでなく、地域全体で考えていくようにしたい。みんなで対象を限定せずに話し合いができる環境があれば話しやすい。
- ・ 西伯町では区で要望の取りまとめを行う。小さな単位のものから大きくなっていくのでは。今ある組織を活かして行って、また必要なら新しいものを考えては。
- ・ あいのわの活動など、できる内容が限られている。活動が広がっていきけるようなものは。
- ・ あいのわでカバーできない範囲は見守り委員などのボランティアが対応しており、買い物の手伝いなどを行っている。これは地域で作っている。
- ・ そういった体制が会見町にも欲しい。

組織については、提案があったとして報告し、具体的な段階までは話し合いを行わない。

南部町誕生記念ウォークラリー（仮）

～ 歩こうか、歩いて知ろう、発見しよう、友好の輪を広げよう～

大会会長

南部町長

実行委員長

ウォークラリー実行委員長

ウォークラリー

先導・交通整理

参加者の先導者、中間、最後尾を歩く
道路を横断する地点の交通指導
車の通りの多い地点の交通指導
分岐点での交通案内

救 護

車等でコースを巡回し、傷病人を搬送する
西伯病院、町保健師等に参加を呼びかける

トイレ・休憩所設置

休憩所でお茶等の配布

史跡案内・説明

コース内の史跡説明

ゲーム他アトラクション・販売

ゲーム他アトラクション

ビンゴ、 ×クイズ等参加しやすいゲーム
町内芸能団体等の出し物
カラオケ大会など

販 売

町内の各加工所、直売所、商工会、企業に参加の呼びかけを行う
フリーマーケット等の募集も検討

PR・協賛

P	R
商工会、町内各企業・団体に呼びかけを行う	
協	賛
商工会、町内各企業・団体に呼びかけを行う	

主な決定事項

開催日時 10月末～11月上旬
開始時刻 8時30分集合、9時00分スタート
申込手続 事前申込み
参加費 徴収
休憩所 赤猪岩神社、すこやか、
上阿賀公民館
トイレ 三崎公民館、清水川公民館、
イベント ゴールのプラザ西伯で交流会開催
物 品 参加者用ゼッケン、スタッフ用名札、
スタッフジャンパー、経路指示看板、
経路指示用石灰、スタート・ゴール幟